

あかしあ

AKASHIA

- 発行者 社会福祉法人あいのわ福祉会 理事長 岸本美恵子
 ●連絡先 〒121-0012 東京都足立区青井4-30-5
 電話 03(3849)1188
 FAX 03(3849)7001
 ●印刷 足立区大谷田就労支援センター
 法人ニュース「あかしあ」隔月25日発行

平成24年度第3回評議員会・理事会報告

・開催日 平成24年11月27日(火)

・評議員会 16時〜17時10分

・理事会 17時20分〜17時55分

・場所 東京マリアーヂュ5階会議室

・報告事項

① 指定特定相談支援事業の開始について

② 竹の塚あかしあの杜における虐待事案発生に関する事故報告書について

・議案

第1号議案 平成24年度上半期事業報告(案)・決算報告(案)

第2号議案 平成24年度第1次補正予算について

第3号議案 平成24年度決算前処理について

第4号議案 綾瀬ハウス改修工事の指名競争入札・参加業者の選定について

平成24年度上半期の各事業所の事業報告(案)・決算報告(案)並びに前記議案についてご審議をいただき、全ての議案が原案通り承認されました。

今年度、各事業所の施設祭りは2年振りに復活し、お隣の神明住区まつりと同時開催させていただいた「イーストウエーブフェスティバル」を締めくくりとして、全施設の施設祭りを終了することができました。多くの皆さまにお足をお運びいただきまして、本当にありがとうございました。

本年も残すところ僅かとなりましたが、あいのわ福祉会は来年度後半に創立20周年を迎えます。今までの道のりを振り返り、職員と共にこれからの法人の進むべき方向性をしっかりと見極めていきたいと思えます。

本年賜りましたご支援ご指導に感謝申し上げますとともに、明年もよろしくお願い申し上げます。

平成24年度足立区総合防災訓練

「第二次避難所《福祉避難所》対応訓練」報告

11月11日(日)、第一次避難所の小中学校9か所、第二次避難所の障がい者施設等6か所、舎人公園、北千住駅、生物園等々、足立区全域で震災を想定した大規模な避難訓練が実施されました。

足立あかしあ園での避難訓練は、障がいを持つ方々が第一次避難所の小学校からの移動、自宅から直接第二次避難所の園に避難して来るとの想定で、足立区としても初めての訓練でした。訓練参加者は利用者・家族、城北特別支援学校生徒・家族、足立区、法人関係者合わせて41名で実施しました。

最初に建物の損壊状況を確認し、避難所として安全かどうかを判断の上、午前9時に第二次避難所を開設しました。直ちに防災服姿の足立区職員を中心に、簡易ベット、プライベートテント、簡易トイレ、発電機での照明等々を設置し、避難所の環境を整えました。午前10時には「高齢者疑似体験」の装具を着けた車椅子利用の避難者がリフト付き車両で到着しました。直接、ご自宅から徒歩で避難されてきた方々も順次到着し、受付で避難者名簿に記載し一息つきました。

10時30分には、足立区長はじめ関係部長、危機管理室長の方々が視察され、参加者に日頃の様子、震災時に想定されること、その準備状況等について丁寧に聞き取りをしていただきました。11時過ぎには足立消防署の方々も駆けつけ、「AED」を使った救命講習を行いました。

法人としては、緊急連絡網、防災連絡無線、事業所間の職員協力体制等々、BCP(事業継続計画)の実施体制の整備に取り組んできましたが、今回の訓練で新たな課題も発見されました。今後も関係機関等々と連携しながら、法人一体の体制整備に努めてまいりたいと思います。

(今野)





「社会福祉法人佛子園」見学研修報告

石川県にある社会福祉法人佛子園が、社会福祉法人としては異例なく幅広いジャンルに事業展開している。聞き度一度は見学してみたいと思っていましたが、機会を得て平成24年11月1日から3日まで、佛子園が経営している8か所の施設を見て回った。今回は5名の職員が参加し、全員が大きな刺激を受けて戻ってきた。

まず皆が驚いたのは、どの施設に行っても職員の皆さんが、異口同音のように理事長の思いを共有していることに先ずは疑いすら感じた。そして、あらゆることに對して事業として可能性があることを自由に提案できる仕組みがあった。勿論、ヒヤリングや厳しい審査があるのは当然ながら、自由な発想からの若い人の意見に耳を傾ける、すなわち傾聴してもらえることから、いろいろな事業展開ができています。審査が通った時には、提案書を出した人物がその事業の責任者に任命され、年齢や経験などに関係なく全権を委任するとのことであった。一般的に考えればとんでもないことなのだ。

事業展開については、どうやら同じ形態の施設を2つは作らないという。異なった事業が連携・協働すること、障がい者ができる隙間産業を意図

的に作り出しているようだ。

「太陽のように明るく、雑草のように強くたくましい」が佛子園の理念であり、三草二木という四字で理念のすべてを言い表している。その意味を知りこれは凄いと強く思った。（横内）

■視察先

◆美川37（みんな）Cafe◆

施設形態…就労継続支援A型20名
事業…待合室の機能を持ったカフェ・建物管理清掃
特徴…JR美川駅の駅舎を指定管理を受け、待合室・ギャラリー機能を果たしたカフェで地域の方の交流の場を作る。



◆星ヶ丘牧場◆

施設形態…入所施設30名・生活介護60名・就労移行支援6名・就労継続支援B型20名
事業…高齢者および障がい者配食サービス・水耕栽培設備を導入した野菜の栽培・請負事業・ひげ張魯肉飯セントラルキッチン

◆西園寺◆

施設形態…就労継続支援B型20名・生活介護6名・高齢者アイサービス10名
事業…温泉・地域コミュニティセンター・カフェ・酒場・ライブ・法人の商品販売・地域の方とのワークシェア（漬け物作り・浴室清掃）・漬物製造・専門講師による講座



◆キッズベランダBe◆

施設形態…児童アイ15名・居宅介護・日中一時支援・移動支援・就労継続支援B型10名・生活介護
事業…屋外活動・遊具の整備・カフェ



◆エイブルベランダBe◆

施設形態…児童アイ15名・居宅介護・日中一時支援・移動支援・就労継続支援B型10名
事業…スタジオ・カフェ・陶芸・パン工房

◆ひげ張魯肉飯◆

施設形態…就労継続支援B型20名
事業…台湾の料理店と契約しフランチャイズ店舗を2店経営

◆むじん蔵◆

施設形態…就労移行支援6名
事業…カフェ・シフォンケーキ製造・清掃

◆日本海倶楽部◆◆日本海倶楽部ザ・ファーム◆

施設形態…入所施設50名・就労継続支援B型20名・生活介護40名、就労継続支援B型14名・就労移行支援6名
事業…ビール作り、レストラン、動物の世話、清掃



◆Share金沢◆

平成25年度オープン予定で、1万坪の土地に就労移行、就労継続支援A・B型、生活介護、高齢者デイ、児童デイ、障がい者用住宅、学生住宅等の町作りが進行中。

(酒井)

■理念・方針

一番強く感じたことは、日常活動のあらゆる場面で、経営理念・組織が目指すもののがはっきりと意識されているということだった。全員が同じ方向を指すことが組織の力となり、利用者・ご家族・地域へと繋がっていることを痛感した。

佛子園が掲げる経営理念『PLVS VIRA』（プルス ウルトラ）は、ラテン語で「更なる前進」を意味し、枠に捉われない新しいスタイルの施設への模索、地域との一体化、人（職員）の人としての育成など、全ての場面で理念の追求が徹底されていた。また、どの職員からも自分たちが目指す先が生き生きと語られ、それが行動力となり、実現化していることを感じさせられた。目指すものが形となり、利用者・地域・法人の繋がりが実現している。

あいのわ福祉会が目指す道、「ありのままのあなたと いつも向き合い支え合い のぞみに向かって わを広げ住みよい環境づくりを進めます」を今一度各々が噛みしめ、目指す道を大いに語り合い、共有し行動していきたい。

(神田)

■育成・研修

法人のコンセプトは現場の職員の「やる気」をいかに引き出すかであり、その理念の下に研修システムが確立されていた。

育成プログラムは、事業所の異なる新人と先輩がパートナーシップを組み、言いやすい環境づくりや客観的な視点からの気づきを狙いに展開している。また、行事などの企画については新人の役割として位置づけ、「創意工夫と発想」を活かし、企画を最後までやり遂げる「責任力」を身につけ、日々実践のなかで役割を果たすこととされている。事業運営に責任を持ついくつかの専門部会を持ち、育成機能の役割も担った様々な事業の展開に繋がっていた。

印象に残った言葉は、職員は「仕事は大変だけどやりがいがある楽しいです。」と全員が言葉に出し、経営側は「私たちは職員のモチベーションを如何に高めるか常に考えています。」と話してくれました。

法人理念の下に全ての職員が同じ方向を向き、平等の機会を与えるられることで、創意工夫と発想を活かした事業展開や利用者支援、地域との関わりに繋がっていることを強く感じた。

(金井)

■地域づくり

荒廃した寺を人々の繋がりを再構築する社会資源として再利用し、コミュニティを作り上げてしまおうという発想、それが西圓寺のサービスです。

具体的には、温泉運営を核にコミュニティセンターを設けることで、多くの人々が気軽に集まり交流の場となる。そこは高齢者デイサービス、障がい者生活介護、という福祉サービスの拠点でもあり、地域の皆さんの働く場、仕事を産む場にもなる。就労支援B型も併設され、障がいを持つ人が地域の皆さんと一緒に、街づくりに貢献し、住民サービスや福祉サービスに従事する。

お互いがお互いの為に働き、必要なサービスを利用する…人々が直につながり支え合うコミュニティが存在し、それをプロデュースしているのが佛子園でした。

佛子園の発想、実践、スピード感はとても新鮮で刺激的です。既存の枠にとらわれず、時代のニーズや新しいスタイルを追求した画期的な事業展開に、今後の当法人の運営及び事業展開に大きなヒントを得ることができた。あいのわオリジナルスタイルで展開できるものはないか模索してみたい。

(小山)

足立あかしあ園だより

日に日に寒くなり、冬が近づいてきていますね。温かい物が恋しくなってきました!

さて、足立あかしあ園では、10月14日に「第17回ふれあいフェスティバル」を行いました。今年度は「スマイル・サンサン! えがおいっぱい・げんきいっぱい」がテーマ。当日は利用者さんのたくさんの方々の笑顔の写真を大きなハート型にした看板と、近隣の小学校のみなさんが描いてくれた笑顔の絵でメインステージを飾りました。利用者さんや、地域の方々の思いが詰まった素敵なステージになりました。テーマ通りに笑顔いっぱい1日のになりました。また、当日の運営ではボランティアの方々の協力があり、今年度も盛大に開催することが出来ましたことを、心からお礼申し上げます。



10月21日にはタートルマラソンがあり、足立あかしあ園からも数名の利用者さんが参加されました。5kmコースや10kmコースに参加され、皆さん完走!!翌日には、少し焼けた肌とキラキラの笑顔で「完走したよ!」と嬉しそうに報告をしてくれる姿がありました。さっそく来年のタートルマラソンに向けての意気込みも聞こえてきています!!

綾瀬あかしあ園だより

綾瀬あかしあ園では、10月よりサークル活動が開始しました。今年度から新しく取り入れたサークル活動は、上半期に利用者さん全員が4つのサークルを体験されて、所属サークルを決めています。

グループの垣根を越えて4つのサークルに分かれ、毎週金曜日はサークルメンバーで1日をすごします。体を動かすことの大好きなメンバーは、体操サークルや、トランポリン



サークル。創作意欲のある方々は、美術サークル、そして男性利用者にも人気のある華道サークルの4つとなっています。

各サークルごとに講師をお招きし、様々な活動をしています。



体操サークルでは、ストレッチを中心に体を解し、トランポリンサークルは、楽しみながら体を鍛え、美術サークルは、年賀状作りを始めています。華道サークルでは、毎回季節の花をアレンジメントして施設の入り口に飾り、来園者を楽しませています。

回を重ねるごとに笑顔が増え、グループ活動とは違う仲間意識が芽生えてくるよう、支援員一同努力しています。(清水)

竹の塚あかしあ園の杜きずな(生活介護入所)だより

早いもので秋も深まり、1年も残りわずかとなりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

きずなでは、10月16日、17日に2年ぶりの1泊旅行に行ってきました。宿泊先は新潟県湯沢町。越後湯沢駅の目と鼻の先にあるホテルです。

1日目は群馬県「クローネンベルク・ドイツ村」で、バイキングとアイ

ス作りを楽しみました。自分で作ったアイスはとてもおいしかったようですね。ホテルに到着するや否や、さっそく温泉に。貸し切り風呂ということもあって、みんなくつろいで過ごすことができましたようです。夜は豪華な夕食を食べながらの宴会で、カラオケにお酒に盛り上がっていました。

2日目は群馬県「原田農園」にてリンゴ狩りを行いました。自分で取ったリンゴをその場でカットしてもらい、取りたてのおいしさを満喫していました。昼食後にパフェづくりも体験し(なんだか食べてばかりですが...)、お腹いっぱい楽しさいっぱいの2日間でした!



この記事が出るころには、ちょうど2日目のディズニー旅行も行われていることでしょう。旅行先でのお土産話期待していますね!

これからますます寒くなってきましたので、みなさま体調管理には十分注意してお過ごしください。

(片桐)

竹の塚あかしあの杜のぞみ (生活介護通所) だより

今回は、年間の中でも大きなイベントである旅行がありました。

作業グループは、9月27日～28日で羽田空港と横浜(カップラーメンミュージアム)に行きました。

1日目の羽田空港では、到着し皆さんで写真を撮り、

その後は各自の食べたい物・買いたい物を求めて自由行動でした。利用者さんの中には、

空弁を展望デッキで食べた方や、少し高級な焼肉を食べた方など楽しんでいただけな様子でした。

2日目のカップラーメンミュージアムでは、オリジナルカップラーメンを作るグループとワールドポーターズに先に行くグループに分かれました。

カップラーメンを作る方は、中に



入れる具材を選び、パッケージに絵を描いて世界に1つのカップラーメンを作っていました。

ワールドポーターズに先に行く方は、ゆっくりそれぞれが買いたい物を買って、食事はおもちやで有名なシルバニアのレストランでウサギのコックさんと写真を撮り食事しました。

利用者さんからは、「もつと色々な物を見たかった」「もつとここにいたい」など話が出ていたので楽しんでいただけだと思っています。皆さんの笑顔がたくさん見れたので、来年はもっと楽しい旅行を目指していきたいと思っています。(和田)

大谷田就労支援センター 大谷田ホームだより

サンタが走る。スパイダーマンが走る。亀が走る。メイドさんが駆け抜ける。魚が歩く。

そして、車いすが走る・

10月21日、日曜日、快晴、気温26度、場所は荒川河川敷。今年も行ってきましたタートルマラソン大会へ・・・正式名称は、第41回タートルマラソン国際大会in足立兼第15回バ



リアフリータートルマラソン大会になります。

今年のエントリー者数は、12405名(前年12266名)で年々増えてきているようです。

大谷田チームは選手・伴走者16名(真つ赤なタスキが目印です)が、10kmラ

ニング・5km

ウォーキングにエ

ントリーし、応援

に駆けつけてくれ

た5名の仲間が見

守る中、それぞれの走り(時には歩

き)、マイペース

のウォーキングで

ゴールを目指しま

した。

途中、ワイナイ

ナ選手に颯爽と追

い越されてしま

いましたが・・・

やっぱり速いです

ね。

ゴールの先に待

っているのは、

保護者会お手製の

おでん・おにぎり

(綾瀬あかしあ園

利用者さんのお父

さん)



さん作) 美味しかったです。ありがとうございました。

後日、完走証が届いているはずですが、前回より記録が良くなった人、イマイチだった人。初めての完走証を手にして、次回に燃える人。それぞれに来年を楽しみにしていることでしょう。

亀の歩みはゆっくりだけれど、コツコツと歩き続けられ、ウサギにも負けないはずだ!

そんな昔話があったなうと思いが、秋の夜長にひとりビールで乾杯しています。(男澤)

神明福祉園だより

9月10月は旅行シーズン。神明福祉園では3つのグループに分かれて旅行に行ってきました。今年も天気恵まれ、1人ひとりが楽しめたと思います。

1回目は日帰りDisneyランド。

ハロウィンのイベントで賑やかでした。アトラクションでは満面の笑みを浮かべて乗ったり、限定のお土産など買ってきました。

湯沢1泊旅行のグループは露天風呂

グループは露天風呂



呂に入つてのくびり過ぎました。

そして宴会ではカラオケタイム！皆さんが楽しみにしているイベント。今年も盛り上がりました。

最後に伊香保旅

行。自動車とおもちゃの博物館・グリーン牧場でバター作り体験をしたり、水沢うどんやキノコご飯など郷土料理がおいしかったです。みんな残さず、食べました。



今年度は行き先を変えてみました。来年度はどのような旅行になるか。利用者の方へ家族の方と相談しながら、また楽しい旅行を作っていきたいと思っています。NAKAMAの会をはじめとするボランティアの皆様ありがとうございました。

また、神明福祉園では、防災についての取り組みを強化しています。救命処置をはじめ避難の想定訓練など、より複雑な状況を設定して、万が一の時に備えています。これから、利用者の方が安全で安心して過ごせる施設づ

くりを目指して取り組んでいきたいと思えます。
(金井)

神明デイサービスセンター だより

すっかり気温が下がり、秋から冬へ移り変わる兆しが、みえてまいりました。

11月11日(日)にはEWFが開催され、デイサービスは、各講習会の発表をしました。

音楽講習会は、ホールイベントのトップバッターで、初めは緊張していましたが、お揃いの桜模様はつびを着て、力強い太鼓やしっとりとしたベルの演奏などを見事に演奏して下さいました。

気功講習会は、先生の後ろに並んで、全員でゆっくりと息を吸ったリ、吐いたりしながら、気を整えて、動きに合わせ、会場にいた多くのお客様も、一緒に動いて下さいました。

フラ講習会では、華やかな衣装にレイをかけて、南国の雰囲気たっ



ぷりの中、華麗な踊りを披露して下さいました。

デイの控え室横では、陶芸や絵手紙を展示。力作が揃いました。

また、今年も復興支援をという事で、皆さんが持ち寄った商品で、バザー「我楽多市」^{がらくたいち}を行い、これも大盛況で締めくくれたので、売上は「みどりの募金」に寄付し、植樹に充ててもらう事にしています。

今年は、「ひかりちゃん祭り」という事で、デイでは、午後の自主活動を中心に利用者さんと、立体的な張り子人形や飾りを作成しました。中には、陶芸でひかりちゃんの絵が入ったプレートを作ってくれた方もいらっしゃいました。

今では、部屋の出入口や窓辺で「ひかりちゃん」が笑顔でデイを見守ってくれています。

是非、今度会いに来て下さい。

(白井)

神明福祉作業所だより

神明福祉作業所

は、9月6・7日で1泊2日『工場見学&梨狩りと絵付け体験 那須高原リゾート那須温泉の旅』宿泊旅行



に行つて来ました。当日は晴天に恵まれ、69名の大人数。トイレ付バス2台を貸し切り出発となりました。

最初の目的地は、芳賀町の梨狩りです。梨2個お持ち帰りと食べ放題の試食に大満足。

益子焼きの湯呑み絵付け体験では、絵を描いたり・好きな言葉を書いたり自分だけの湯呑みができ貴重な体験になりました。

ホテルは、温泉・料理なども良く部屋からの眺めも素晴らしかったです。

2日目は、わくわく科学ランドと森永製菓工場見学です。

わくわく科学ランドは、科学の実験や体験をすることが出来ます。目の錯覚や電気の実



験には驚かされました。

今回の旅行で、皆様が楽しみにされていたのが森永製菓工場見学です。お菓子が作られる工程は感動しました。

昨年は、震災の影響で宿泊旅行が中止されましたので、2年振りに利用者の皆様・職員共にとても楽しめた思い出の多い宿泊旅行となりました。

(河瀬)

グループホームオハナだより

今年も残すところ1ヶ月余りになりました。月日の流れは早いものです。今年を振り返ると、例年と変わらず平穏な日々だったように感じますが、利用者の皆様には満足な支援をしてあげられたかと思うと、待つてもらったことや要求に応えられないこともあり、反省点ばかりです。それでも、いつも利用者の方々の笑顔に助けられてきたこの1年でもあります。これからも、この笑顔が絶えることなく過ごせますようにと願うばかりです。

今年は、天候不順や気温の差が激しく、皆の体調を維持するのが難しい年でもありました。年々感じることでありますが、心身とも健康で健やかな日々が送れるよう、これからも皆さんと楽しく過ごしていきたいと思えます。

今年も色々とお力添えをいただき、

ありがとうございました。皆様が健康で充実ある素敵な年になりますように、そして新年もどうぞ宜しくお願い致します。

(永山)

あいのわ支援センターだより

朝夕はひととき冷え込むようになりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、谷中ハウス（ケアホーム）では、ご利用者様の誕生日にあわせてお誕生日会を行っています。毎回、誕生日を迎える利用者様の希望を聞きながら、調理の内容等を決めていきます。

10月は秋にぴったりのさつまいもを使ったスイートポテトを作りました。

さつまいもをつぶしたり、好きな形に丸めたり、味見をしてみたり、

トースターの中を覗いてみたりと皆様それぞれ

楽しそうに参加されていました。

調理を終えた後は、2階と3階合同の昼食会です。誕生日の歌を皆で歌い、乾杯をして、お



祝いをしました。職員からのバースデイカードのプレゼントもあり、主役のご利用者様に喜んでいただけただけです。食後には、スイートポテトにアイスクリームを添えて食べました。少し硬くなってしまった所もありましたが、皆で美味しく頂くことができました。その後、4月から谷中ハウスで撮った写真を見ながら、「こんな事をやったね」「またやりたいなあ」など、皆様と思い出話をしました。今後も皆様との谷中ハウスでの楽しい思い出ができるよう、ご利用者様の希望を聞きながら、催し物を開催していきたいと思えます。

(内田)

■タートルマラソン模擬店出店報告

第41回タートルマラソン国際大会in足立・第15回バリアフリータートルマラソン大会に、今年も模擬店（おでん・バナナ・フランクフルト・飲み物）で参加しました。12,000人超のランナーの参加があったそうで、その中には法人職員や利用者の方も元気に完走されていました。走った後は、用意した手作りのおにぎりとおでんを食べていただき喜ばれました。

今年度、模擬店担当の綾瀬あかしあ園・大谷田就労支援センター・谷在家福祉園の皆さんのご協力に感謝いたします。

純利益 151,410円

社会福祉法人あいのわ福祉会

職員研修プログラム

今年度11月から、職員研修を行う予定になっています。この研修は厚生労働省の助成を受けて行うものですが、以下の目的で実施します。

障がい者福祉事業を健全に経営していくためには、「良質なサービスの提供」「効率的な業務運営」「職員の生産性向上」が欠かせません。勤続5年までの職員は、今後の施設経営の中核となる人材と考え、これらの職員に対して、上記3点を理解、習得していただくことを目的にしています。また、法人が求める職員像への理解を深めることにより、職員の仕事に対する目的やその質の向上を目指します。

これらのことを踏まえ、研修内容は、準備段階から各事業所の研修担当者が集まり、外部コンサルタントと共に研修内容の検討や、具体的な項目の検討を行ってきました。リスクマネジメント、コミュニケーション、コンプライアンス、個別支援、コーチング、リーダーの役割、対人支援技術などがあります。内容も多岐にわたっており、幅広い学習が必要になります。職員の方一人ひとりが、多くのことを吸収して現場の実践や教育・指導に活かし、より良い利用者ニーズの実現に貢献できるように期待しています。

職員研修プロジェクトでは今回の研修成果を踏まえ、法人全体の研修体制の構築を図り、自らが学びやすく・働きやすい仕組み作りに取り組みしていきたいと思えます。職員の皆様のご理解ご協力の程よろしく願います。(酒井)

投稿欄

（俳句・川柳など募集中です）

今朝晴れて 柿の色づき 妻と見る
 つつがな
 恙無く 百一歳の人生を 義母は終りて 安らかに逝く 秋山 啓司
 佐々木きよ子

この一句

花を愛で 実を愛で今日の 林檎もぐ 亀村 慶子

林檎畠の近くには清らかな小川が流れ、遠くには雄大な山々が連なる。春には可憐な白い花が咲き、秋には艶やかで甘い実がたわわになる。

私は小学生の頃、林檎畠の片隅に約一年間住んでいたもので、この句の通りの体験を致しました。好感の持てるいい句である。（秋山）

後援会だより

（平成24年9月～10月） 敬称略、順不同

◇特別会員（1口1万円）

羽住 奎、羽住爽恵

◇一般会員（1口3千円～5千円）

平沢清壽

◇寄付者

西村文雄、渡辺和彦

★今年も多くの皆様の後援会へのご加入、ご寄付、誠に有り難うございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

●竹の塚あかしあの杜「なごみ」・谷中支援センター

短期入所事業利用状況（平成24年9月～10月）

利用人数	201名	内児童	13名
延べ利用日数	872泊	内児童	41泊

編集後記

今年もあつという間に12月を迎えました。一年が経過するのは本当に早いものです。特に、平成17年からの障害者自立支援法の改正が矢継ぎ早に行われ、いよいよ来年度には障害者総合支援法が施行されます。日本のGNPやGDPが低下し、高齢化がより一層進む中での経済状況と国民生活がより困窮化する傾向にあり、今後の日本を背負う若者が減少し、一人あたりの税負担額が増す中で、日本は一体どこに着地するのでしょうか。大きな疑問にぶつかっています。既にヨーロッパでは幾つもの国が経済破綻を迎え、更に増える傾向は、全世界的不況の時代に入ってしまったのであろうとしか考えられませんが、併せて、領有権問題については、中国、韓国、日本の三国がとも気まづい関係になっています。

このような不透明な世相の中ですが、私たちの法人は間もなく20周年を迎えようとしています。ここに集う利用者とそのご家族に満足していただけるサービスの提供と、働く職員の生活保障の両面が上手くマッチしていくことが求められます。また、組織が大きくなるにつれて、より多くの方の考えに真摯に耳を傾けていかなければなりません。繰り返す歴史を顧みて、今、何を大切にすべきかを真剣に考えてみたいと思います。（横内）



●後援会加入のおねがい●

当法人の事業及び運営施設の発展を願い、財政的な援助をしていくことを主として後援会活動を行っております。

一人でも多くの方々に賛同いただき、後援会への加入をご支援をお願い致します。申し込み・お問合せは後援会事務局 電話（3849）1188まで